

桐生市・みどり市の連携強化と広域経済交流の促進について（継続）

桐生商工会議所が長年にわたり要望しておりました桐生市とみどり市との合併推進につきましては、平成28年5月にみどり市から任意合併協議会の設置の見送りが正式に伝えられ、合併協議にピリオドが打たれました。

かつて一市三町三村で構成されていた桐生広域経済圏は互いの地域特性や立地条件が有効に生かされ、長い広域圏行政のもとで将来の豊かな発展を構想しつつ緊密な連携を深め、共に歩んでまいりました。行政として両市が分断されている状況は、住民生活はもちろん産業活動や地域振興、観光面などあらゆる分野において様々な問題が生じております。桐生市とみどり市が互いの地域コミュニティを保ちつつ、連携し補完し合いながらひとつの経済圏、生活圏を形成していくことこそ、地方創生を具現化するものであると考えます。

当所と桐生広域圏内の商工会は、昭和47年に広域経済交流団体としての「赤城地区経済交流会」を発足、現在は「桐生市・みどり市経済交流会」と名前を変えて広域経済交流を推進しております。当所といたしましては、桐生市とみどり市との合併推進は組織発足以来の変わらぬ基本姿勢であり、将来の実現を強く望むものであります。

桐生・みどり両市長が、ともに両市の連携強化に積極的に取り組まれておりますことは、産業界として大いに歓迎すべきことであります。桐生市におかれましては、両市の連携強化と併せて広域経済交流の促進について、引き続き市政運営に反映していただきたく強く要望いたします。

桐生市からの回答

桐生市・みどり市につきましては、長年に渡る広域圏行政のもとで一つの経済圏、生活圏を形成してきた経緯があり、今後とも地域経済の活性化に向けて、両市が連携し補完し合いながら広域的な経済交流の促進等を図っていくことが重要なことと認識しております。

こうした観点で重要な事業である「ビジネスマッチングフェア」につきましては、貴所と桐生信用金庫と締結した「包括的連携・協力に関する協定」の趣旨に基づく三者連携事業としてスタートしましたが、今では主催団体も増え、東毛地域における広域的な経済交流の場として開催されており、本年度はみどり市も主催団体に加わり、より一体的な支援体制が形成されたところであります。

当イベントに限らず、今後も貴所を中心とした産業団体や金融機関等との連携強化を図る中で、両市の連携促進に努め、行政の枠組みを超えた経済交流活動の活性化や経済循環の拡大等を推進してまいりたいと考えております。

〔回答担当〕産業経済部商工振興課産業立地戦略担当

桐生市・みどり市の連携強化につきましては、これまで以上に両市が緊密に連携し、各分野における政策を進めることで、行政の効率化や市民サービスの向上を図ることを目的に、令和元年8月に「桐生・みどり未来創生会議」を両市共同で設置し、令和2年度まで

に6回の会議を開催する中で、公共交通・観光・防災など7つの連携テーマを協議し13件の具体的な連携事業の方向性を決定してまいりました。

当会議は令和3年3月31日をもって市民委員の任期が満了となり、一旦の区切りとなったところですが、今後はさらに会議内容を深化させた「第2期桐生・みどり未来創生会議」として開催を継続していく方向としており、今後も当会議を進めることで両市のさらなる連携強化と両地域の魅力発展につなげてまいりたいと考えております。

〔回答担当〕 共創企画部広域連携推進室広域連携推進担当